

# 相武台周辺地域小・中学校の 学習環境のあり方検討協議会 ニュース

令和4年4月発行  
相武台周辺地域小・中学校の  
学習環境のあり方検討協議会

第6号

相武台地区の児童数は減少傾向にあり、現在、相武台小の6年生と、もえぎ台小の全学年が、1学年1学級となっており、両校は過小規模校となっています。

こうした過小規模校の解消に向け、検討を行うため、平成30年8月に「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会（※以下「検討協議会」という。）」を設置し、相武台周辺地域の小・中学校における望ましい学習環境のあり方について、意見交換を行ってきました。

令和4年1月17日に開催した第10回検討協議会では、本検討協議会で実施した保護者アンケートの結果について、意見交換、今後の対応を協議し、検討結果報告書のとりまとめを行いました。

令和4年3月17日には、検討協議会から検討結果報告書を教育委員会に提出しました。



【教育長に検討結果報告書を提出しました】

## 第10回検討協議会で話し合ったこと

### 保護者へのアンケートの結果について

検討協議会で作成した検討結果報告書（案）について、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校、相武台中学校の保護者（※）の方からアンケートにより意見を聴取しました。

※令和3年度の児童生徒の保護者

### 〇もえぎ台小学校を閉校し、相武台小学校及び緑台小学校に再編する案についての意見（第1段階）

案に対して、賛成と捉えることができる「意見無し」が全体の約86%、「意見無し」としながら意見を記した方の内、「肯定的な意見」が23件、「不安が無い訳ではないという意見」が1件でした。また、意見の記述があった85件の内、「否定的な意見」は20件でした。

### 《意見の多かった内容》

- 多様性が重視される昨今において、小学生の時期は、より多くの人に出会い、より多くの考え方にふれ、自分自身を知る大切な時期だと思います。人間関係が固定化されてしまう単級はデメリットが大きく、再編案に賛成します。
- どの学校が閉校するにしても、最終学年のいる家庭など、小学校の選択を検討してほしい。
- 過小規模校でなくなるメリットにも魅力を感じているので、再編に反対ではないが、環境の変化も大きいため、再編に直接関わる児童達の気持ちを考えていけるとよい。

○再編後、2つの小学校の通学区域に、相武台中学校の通学区域が一致するよう、若草中学校の通学区域の見直しを検討する案についての意見（第2段階）

案に対して、賛成と捉えることができる「意見無し」が全体の約93%、「意見無し」としながら意見を記した方の内、「否定的な意見」、「不安が無い訳ではないという意見」はありませんでした。また、意見の記述があった36件の内、「否定的な意見」は7件でした。

なお、見直しにあたっては、今後の麻溝台・新磯野地区整備推進事業の状況を踏まえ、人口増の可能性に留意していく必要があると考えます。

《意見の多かった内容》

- ・小学校再編後には、中学校学区の見直しも必要となるので賛成です。
- ・1つの小学校から2つの中学校に分かれるより、相武台中学校1校で良いと思います。
- ・小学校から中学校に進む時、ある程度新しい交友関係が出来た方がいいので、中学校の学区の見直しはしなくていいと思います。

検討結果報告書について

- ・「もえぎ台小学校を閉校し、相武台小学校及び緑台小学校に再編する案」等を原案のとおり承認し、会長・副会長が検討協議会を代表し、保護者アンケートの結果を踏まえた検討結果報告書を教育委員会に提出しました。
- ・提出した検討結果報告書を基に、今後、教育委員会で内容等を検討し、再編の時期などを含めた方針を決定する予定です。なお、再編の時期については、令和7年度以降になる見込みです。
- ・教育委員会が決定した方針については、市ホームページでの掲載及び報道機関への提供を行うとともに、第11回検討協議会（開催時期は未定です）で教育委員会から説明する予定です。

「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会ニュース」は、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校の保護者の方に配付するとともに、相武台地域の自治会に回覧しています。

検討協議会の結果概要とこれまで検討した課題解決策（案）などの資料は、市の行政資料コーナー、相武台公民館、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校に配架していますので、関心のある方は是非ご覧ください。

事務局（お問合せ先）  
相模原市教育委員会  
教育局 学務課  
電話（直通）  
042-769-8282